

松総平第19号
令和5年9月1日

第28回松本市平和祈念式典実行委員 各位

第28回松本市平和祈念式典実行委員会
実行委員長 春日 孝介

第28回松本市平和祈念式典及び平和の集いの反省等について（依頼）

残暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度の「第28回松本市平和祈念式典」及び「平和の集い」に、多くの市民の皆様に御参加いただき、平和について考える機会となったのではないかと思います。実行委員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではありますが、来年度の開催に向けて反省やご意見等を賜りたく存じます。

下記のとおりご提出いただきますようお願い申し上げます。

記

1 提出書類

回答書 別紙のとおり

2 提出方法

FAX、電子メール、郵送のいずれかの方法でご報告ください。

※電子メールの場合は、様式によらない報告で結構です。

3 提出締切

9月20日（水）

松本市	総務部	平和推進課
担当	岩岡	楓
電話	33-4770（直通）	
FAX	33-1877	
メール	heiwa@city.matsumoto.lg.jp	

回答書

委員氏名 _____

1 反省及び感想

(1) 第 28 回松本市平和祈念式典

(2) 平和の集い

2 来年度開催へ向けての意見

※ 9月20日(水)までにご提出ください。

松本市総務部平和推進課

担 当 岩岡 楓

電 話 33-4770（直通）

F A X 33-1877

メー ル heiwa@city.matsumoto.lg.jp

第 28 回松本市平和祈念式典・平和の集いの反省等まとめ

1 反省及び感想等について

(1) 第 28 回松本市平和祈念式典

良かった点

- ・時間が長すぎず短すぎず良かった。(他 1 名)
- ・受付の設置方法がよかった。受付を済ませた人の流れがスムーズであった。
- ・スムーズな運営ができており大変良かった。(他 1 名)
- ・多くの人が参加しての祈念式典でよかった。
- ・子ども達の発表もとても心に響くものであった。
- ・短時間ではあったが、厳粛な式典となり参加された皆様には満足していただけたと思う。
- ・折鶴の献呈台を設けられ、内容、時間とも良い式典であった。
- ・平和への思い発表が心に残りました。

改善点

- ・当日の折鶴献呈をやめたためか、少し貧弱に見えた。もう少し量が欲しい。
- ・冊子の渡し方に工夫が必要（混んできた際にお待たせした）
- ・原爆展ブースの縮小は残念であった。

その他

- ・恒久平和を願う国民として、記憶の風化は大きな課題である。多くの市民が関心を持ち、参加参画する祈念式典になればいいと思う。
- ・もっと多くの子ども達にも平和について考えるきっかけになって欲しい。
- ・コロナ禍の影響は残っていたが、献呈を含め多くの市民の皆様に参加いただいたのは意義のあることだと思う。唯一の戦争被爆国にあり、広島、長崎の悲惨な体験は 78 年という月日とともに語り部を失いつつあるが、式典の機会は恒久平和の意義を改めて実感するためにも有意義な時間であると思う。核保有国を巻き込んだ人類滅亡へと突き進まないとは断言できない状況に世界は動いていくかもしれない。次世代へ平和の尊さを伝え続ける事そこから自身で何ができるかをとらえる環境は今後も不可欠だと思う。
- ・子ども達にもっと平和について関心を持ってもらうために、一般の児童参加が増えるといいと思う。

- ・次世代を担う子どもたちの思いがこのまま未来に引き継がれていくことを願う。

(2) 平和の集い

良かった点

- ・小中学生にも理解できる大変すばらしい企画だったと思う。(他3名)
- ・2人組で原爆の生々しい跡の様子を語ってくれて心が痛んだ。
- ・語り部の話に引き込まれた。当時の子どもたちの言葉だからこそ、子ども達はもちろん、大人にも分かりやすかった。
- ・朗読会では朗読、スクリーンを両方使い、とてもわかりやすく、また戦争の悲惨さがよく伝わるものだった。
- ・長崎市の永遠の会の朗読が上手で、被爆体験を共有できた。
- ・多くの参加者があり、子どもさんも参加していてよかったと思う。
- ・被爆体験記の朗読会があり、記憶の継承の取組みとして、良い催しであった。
- ・椅子の片付け等スムーズに事が運んだと思う。

改善点

- ・講堂内マイク音量がもう少し大きい方が聞き取りやすい。(他1名)
- ・参加できなかった子ども達にも、是非聞かせたい内容だと思う。アーカイブス等で、広く子ども達に聞かせられたら良い。
- ・大勢の方が参加できるように事前PRが必要
- ・集いを人数的に更に充実して欲しい。

その他

- ・広く子どもたちに知らせる事が大事
- ・被ばく体験の語り継ぎは、戦争の記憶風化を抑えるには重要な取り組みである。
- ・体験者としての語り部が減少していく今日、被爆体験を語り継ぐという活動は感慨深い内容であり、今後も多くの団体等でこうした活動を引き継いで行って欲しいと思う。
- ・永遠の会の方々の朗読会を聞き、どの時代にも「普通の生活、幸せがそこにはあった」それを戦争で奪われてしまったことを改めて知り、今後も語り継ぎ、子ども達に同じ思いを二度と起こさぬよう教えていきたい

2 来年度開催へ向けての意見等について

- ・千羽鶴の置き方を横にもう少し広げて皆さんに見える所への展示がいいと思う。
- ・大変意義ある活動だと感じている。
- ・多くの市民に参加していただける祈念式典にしていきたい。
- ・多くの方に平和について考えるきっかけになって欲しいと思うので、平和の集いに関しては、アーカイブス又は当日オンライン配信ができると良い。
- ・「松本市平和都市宣言」を軸として、戦争だけではなく、命の尊さを実感し、住みやすい都市づくりに関与するためにも継続開催を望む。
- ・地球上のいたるところで戦争が行われているが、戦争のない世界の実現に向けた取り組みとして末永く続けていきたいと思う。(他1名)
- ・戦争の歴史を振り返るとともに、世界と我が国の現状をしっかりと見つめ、今後私たちがどう向き合っていくべきかを確認しあう場となればよいと思う。
- ・台風の関係等前もって時間等を決めて連絡ができると良い。(他1名)
- ・折鶴の献呈台は今回の折鶴持参者の数からも継続するべきと思う
- ・通知対象者の表記について「議員」という表記について工夫をしていただきたい。
- ・式典・集いともに開催時間は現行でいい
- ・親子で参加してもいいと思う内容だった。戦争や平和について考える良い機会だと思う
- ・熱中症対策が徹底されるとよい。
- ・猛暑の中での祈念式典であるので、今後も時間短縮を最優先に考えていきたい。